

平成27年度－令和2年度

三種町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

実績及び総括報告書

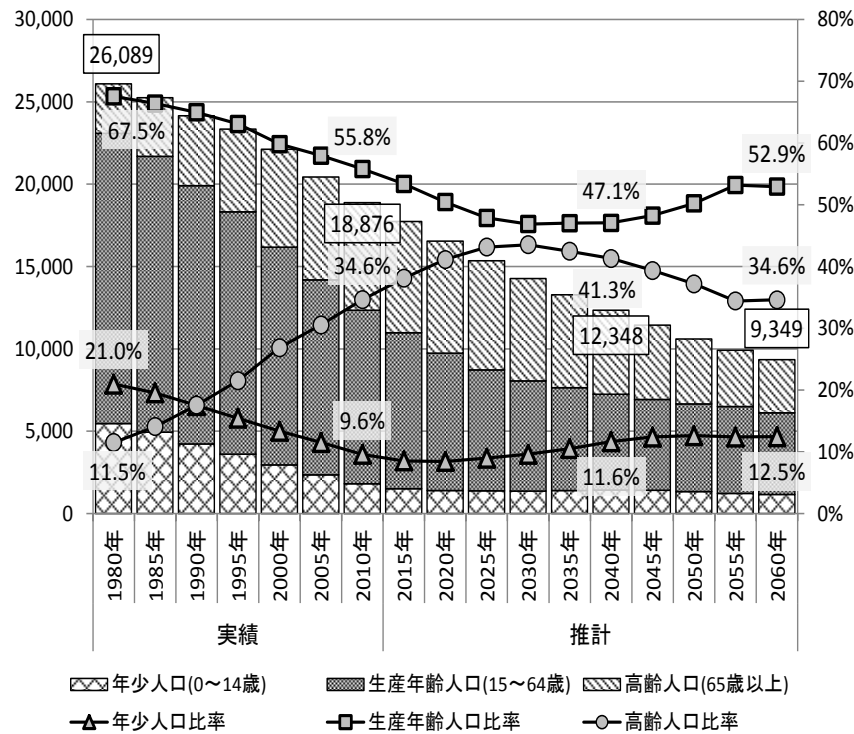
令和 3年 9月

三 種 町

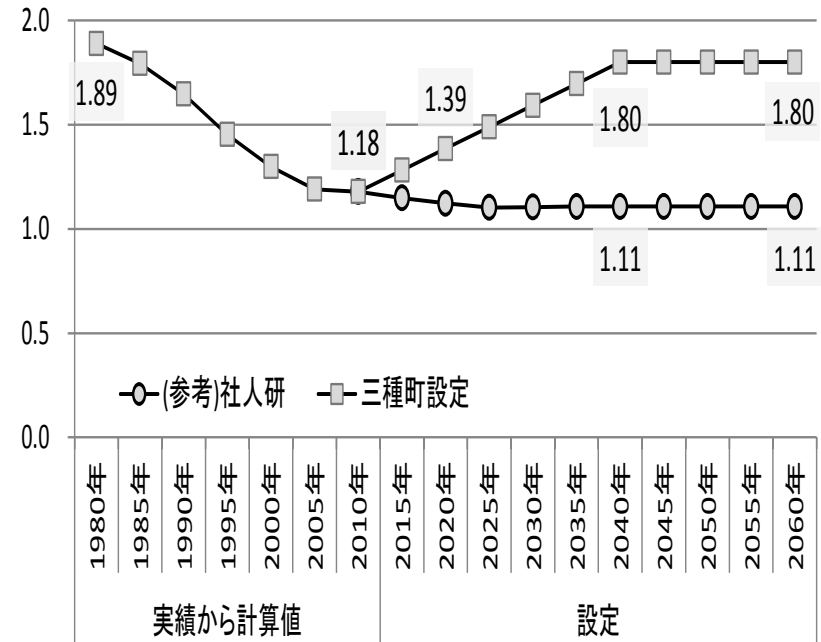


# 三種町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(H27-R2)による推計値と人口の推移

## 1. 将来人口の目標

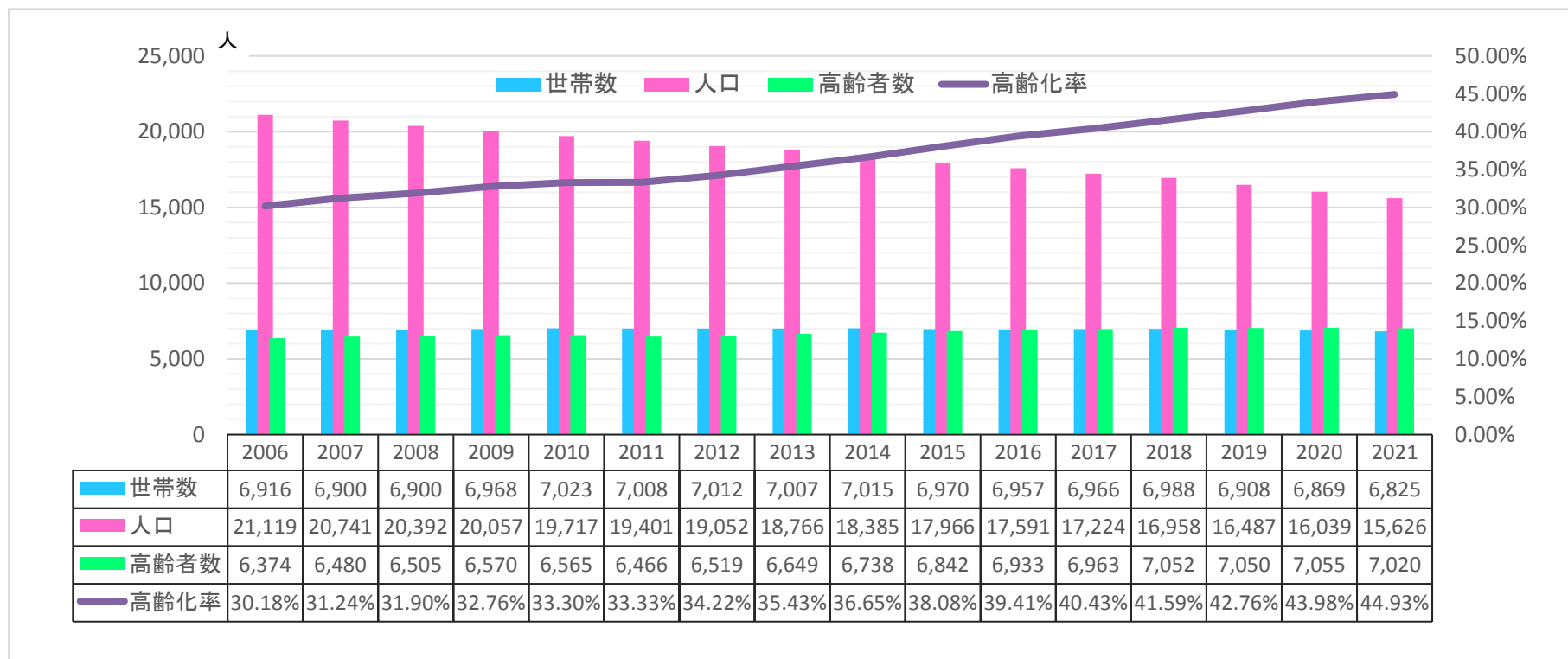


## 2. 合計特殊出生率の目標 ※出生率は2040年に1.8で設定



2013-2017(H25-H29)  
の合計特殊出生率公表値  
1.28

3. 三種町の人口・世帯数・高齢化率の推移 ※各年4月30日現在の住基人口



4. 人口の現状について

三種町の人口・世帯数・高齢化率のグラフから、2015(平成27)年に人口ビジョンを設定した時よりも人口減少と少子高齢化が進んでいることが分かります。

2006(平成18)年から2021(令和3)年までに、人口は5,493人減少し、高齢化率は14.75ポイント上昇しました。

人口減少や少子高齢化は本町だけの課題ではなく、秋田県をはじめ全国的な傾向といえますが、今後も人口減少と少子高齢化は進行すると予想されており、2021年度からスタートした三種町みらい創造プランでは、人口の目標を改めて設定しています。

## 三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策一覧

基本目標	具体的施策	主要事業	事業名	
1. 三種町における 安定した雇用を創出する	(1)農業所得の向上	①じゅんさい生産向上事業	じゅんさい摘み手育成事業	
			じゅんさい生産数量助成事業	
			じゅんさい圃場整備事業	
		②農産物高付加価値化支援事業	秋田発ジャパンプランド育成支援事業	
			メロン産地育成事業	
			果樹産地強化支援事業	
		③機械施設整備支援事業	新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業	
		(2)新規就農支援	①受入農家支援事業	農業研修者受入支援事業
				地域で取り組む複合経営支援事業
	②新規就農者支援事業		青年就農給付金事業(農業次世代人材投資事業)	
			新規就農者経営開始支援事業	
	③インターンシップ導入事業		地域で学べ！農業技術研修事業	
	(3)6次産業化支援		①6次産業化支援事業	6次産業化支援
		地方創生推進交付金事業・地方創生加速化交付金事業		
	(4)地域雇用の創出	①中小企業経営支援事業	中小企業融資斡旋資金利子補給	
			小規模事業者経営改善融資利子補給	
		②新規雇用支援事業	地域雇用創出推進事業	
		③創業・起業支援事業	新規進出・起業・異業種参入支援事業	
		④企業誘致制度の拡充	工場誘致等奨励事業	
		⑤スキルアップ支援事業	資格取得支援事業	

基本目標	具体的施策	主要事業	事業名
	(5)観光資源活性化支援	①観光資源活性化支援事業	じゅんさいの里活性化事業
			サンドクラフト
		②交流人口拡大事業	PRラジオ放送事業
			交流観光事業
			地域活性化イベント事業
			台湾交流事業
			スポーツ・文化合宿等誘致推進事業
地域連携DMOあきた白神ツーリズムを核とした観光地域づくり推進事業			
2. 三種町における 新しい人の流れをつくる	(1)移住・定住支援の強化	①移住・定住対策事業	定住奨励金事業
			移住定住対策事業
	(2)空き家の確保対策	②移住体験ツアー事業	ふるさと体験ツアー事業
			①空き家バンク整備事業
		②短期移住体験用空き家整備事業	短期移住体験用空き家整備事業
3. 三種町における 若い世代の結婚・出産・ 子育ての希望をかなえる	(1)結婚支援の推進	①結婚支援事業	結婚支援事業
			あきた結婚支援センター入会助成事業
	(2)子育て支援の充実	①子育て支援センター事業	地域子育て支援事業
			②保育料助成制度の充実
		③医療費助成制度の充実	福祉医療費給付事業
			予防接種費用助成事業
			赤ちゃん誕生応援事業
			乳幼児・母子保健事業
4. 三種町における 時代に合った地域をつくる	(1)コミュニティ活動支援	①地域コミュニティ活性化支援事業	三種町元気づくり支援事業
			若者活動支援事業
	(2)クアオルトの推進	①クアオルト促進事業	クアオルト事業

## 三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績及び総括

### 三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

平成27年度から取り組んでいる三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、当初、令和元年度までの5カ年計画でしたが、次期総合戦略を町総合計画、国土強靱化地域計画と一体化して策定するため、計画期間を1年延長し令和2年度までとしています。計画期間中は、PDCAサイクルにより事業実績を年度ごとに検証し、審議会や町議会へ報告してきました。令和2年度は計画の最終年度であることから、各事業の実績と総括について次のとおり報告します。

基本目標1 三種町における安定した雇用を創出する 事業数26 KPI達成 2/5(40%)

重要業績評価指数 (KPI)										
指標項目	基準値	目標値 (R2)	実績値							達成状況
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	まとめ	
① 認定新規就農者数	16人 (H26)	総数 36人	新規 1人 総数18人	新規 3人 総数21人	新規 1人 総数22人	新規 1人 総数23人	新規 1人 総数24人	新規 なし 総数24人	新規 7人 総数24人	未達成
② 6次産業化支援団体数	—	5団体	新規2団体 グリーンびあ じゅんさいの 館	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	4団体 ドラゴンプレッ シュセンター グリーンびあ じゅんさいの館 ぶるん	未達成
③ 新規雇用者数	47人 (H26)	総数 250人	17人	28人	34人	34人	13人	26人	総数 152人	未達成
④ 資格取得助成利用人数	—	総数 80人		54人	73人	88人	64人	85人	総数 364人	達成
⑤ 交流人口(観光客入込数)	835,000人 (H25)	900,000人		812,000人	832,000人	810,000人	1,070,000人	990,000人	990,000人	達成

基本目標1では、町の特産品であるじゅんさいをはじめ農業、商工業、交流人口の拡大を主な事業として進めてきました。

じゅんさい関係▼JGAPの認証農家を増やし、付加価値をつけることによる農家の所得向上を目指して各種事業を実施していますが、生産農家が高齢化していることや摘み手の確保が困難な状況にあることから、十分な成果を得ることが出来ていません。さらに近年は天候不良等による影響を受けており、生産数量が減少しています。

就農支援関係▼農家の高齢化等が深刻化しているため、担い手の確保や新規就農支援、稲作以外の作物奨励など、経営体制を維持するための各種事業を実施していますが、成果は限定的になっています。

雇用支援関係▼町内の中小企業や小規模事業所を支援する取り組みを実施しており、利子補給等の経営支援は利用されていますが、新規雇用奨励事業は当初の目的には達しておらず、新規進出や起業が少ない状況です。資格取得支援事業は利用者が多く、目標値を達成しています。

交流人口関係▼じゅんさいの摘み採り体験や各種イベント、スポーツ文化合宿等誘致事業などは安定した状況になっていましたが、令和元年度からは新型コロナウイルスの影響を直に受け、事業実施が困難な状況になっています。



重要業績評価指数 (KPI)										
指標項目	基準値	目標値 (R2)	実績値							達成状況
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	まとめ	
⑥ 転入者数	256人 (H25)	280人	277人	269人	281人	224人	236人	203人	203人 <del>最大281人</del> 総数1,490人	未達成  <del>達成</del>
※目標値の設定に対し、当初は最大値281人(H29)により「達成」としましたが、審議会委員の意見により、達成状況を修正しました。										
⑦ 移住・定住相談件数	20件 (H26)	総数120件	19件	20件	12件	42件	53件	37件	総数183件	達成
⑧ 空き家バンク登録件数	21件 (H26)	50件	26件	30件	33件	42件	53件	40件	最大53件	達成
⑨ 空き家移住世帯数	3世帯 (H26)	総数29世帯	3世帯	5世帯	1世帯	4世帯	7世帯	7世帯	総数27世帯	未達成

基本目標2では、移住定住に関する事業を実施してきました。転入目的等の調査は実施していませんが、毎年、一定数の転入者がいることが分かります。

定住奨励金事業 ▼平成30年度まで町外から転入してきた方々へ定住奨励金を贈呈していましたが、年齢や転入の目的等による課題が多く、若者の定住を奨励する結婚祝い金事業へ事業を切り替えています。

空き家バンク関係 ▼町内外からの空き家バンクへの問い合わせは増えていますが、すぐに利用できる登録物件が少ないため、要望に対応できていない状況にあります。老朽化が激しい物件については、令和2年度に登録の見直しを実施しました。

重要業績評価指数 (KPI)										
指標項目	基準値	目標値 (R2)	実績値							達成状況
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	まとめ	
⑩ 結婚支援員の養成	—	20人		13人	7人	6人	7人	6人	6人	未達成
⑪ 合計特殊出生率	1.27 (H19-H24)	1.37	1.27 (H19-H24)					公表 1.28 (H25-H29)	R2公表値 1.28 (H25-H29)	未達成
⑫ 第2子以降の割合	48.6% (H26)	50.0%		保育園利用 児童の割合 39.5%	保育園利用 児童の割合 40.0%	保育園利用 児童の割合 44.8%	保育園利用 児童の割合 62.0%	保育園利用 児童の割合 67.0%	保育園利用 児童の割合 67.0%	達成

基本目標3では、結婚や子育て支援に関する事業を実施してきましたが、目に見える効果にはいたっていません。

結婚支援関係▼結婚支援事業として結婚支援員を設置し、出会いイベントの実施やお引き合わせ等を実施しています。すぐに成果へ結びつけるには難しい面がありますが、支援員の積極的な活動により事業が継続されています。

子育て支援関係▼子育て支援では、不妊治療や妊婦健診の助成のほか、保育料や医療費負担の軽減等、経済的な支援を実施しています。子育て支援センターでは、育児相談や交流事業も実施しており、令和3年3月には子育て世代包括支援センターが開設されました。子育て中の父母を支える体制づくりが始まっています。

重要業績評価指数 (KPI)										
指標項目	基準値	目標値 (R2)	実績値							達成状況
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	まとめ	
⑬ まちの愛着度	66.2% (H27)	70.0%	66.2%	73.2%	71.6%	70.3%	70.3%	72.9%	最終 72.9%	達成
⑭ クアオルト事業実践者数	—	3,200人	641人	693人	859人	1,125人	1,092人	400人	最大 1,125人	未達成
⑮ 国保加入者特定健診受診率	33.9% (H25)	60.0%	37.6%	37.7%	37.6%	39.2%	42.1%	38.1%	最終 38.1%	未達成

基本目標4では、地域コミュニティ活性化や住民の健康増進のため、元気づくり支援事業や若者活動支援事業、クアオルト事業を実施してきました。

地域コミュニティ活性化関係▼元気づくり支援事業を6年間実施し、自治会やグループでの自主活動を支援してきましたが、H30年度からは若者の自主的な活動を支援する事業へ切り替えました。申請団体の中には、地域の子どもたちや高齢者を対象とした独自の活動を実施している団体があり、継続を支援する必要があります。

クアオルト関係▼H27年度からH30年度まで、あきた未来づくり交付金を活用して活動をスタートしました。現在は、住民の健康増進と交流人口の拡大を目的に事業を実施しています。

## 総 括

基本目標		事業数	KPI数	達成数	達成率	未達成数
基本目標1	三種町における安定した雇用を創出する	26	5	2	40.0%	3
基本目標2	三種町における新しい人の流れをつくる	5	4	2	50.0%	2
基本目標3	三種町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8	3	1	33.3%	2
基本目標4	三種町における時代に合った地域をつくる	3	3	1	33.3%	2
合 計		42	15	6	40.0%	9

三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少と地域経済の縮小を克服するため4つの基本目標を設定し各目標に添った事業を進めてきました。

基本目標ごとに設定されているKPIの達成状況については、達成率の平均が40%となっていますが、全体的にみた場合、効果は限定的だったと考えます。

町では、これらの現状を踏まえて昨年度三種町みらい創造プランを策定し、今後のまちづくりの方向性を統一しました。

人口減少と少子高齢化が進み社会の構造が変化している中で、重点的に実施する事業等を見極め、効果的に進める必要があります。

## 三種町みらい創造プラン等審議会からの意見

○コロナ後の人口減少をストップさせないと、町の財政状況はどうなっていくのか。生産人口が極めて少ない状況で、支える人が少なくなって背負う人口がとて多くなる。財政がまわっていかなくなることに、非常に危機感をもっている。

○コロナ禍ではあるが、リモートワークなど地方に有利になるチャンスを掴む必要がある。子育て世代をいかに呼び込めるか、いかに転出人口を止めるかが大事。

○転入者数の目標値280人に対して、1回だけの281人で目標達成とするのは違和感がある。どうやって転入を増やすかは人口減少ストップの大きな鍵となるので、数値の扱い方について検討を。

○目標が達成できた、できなかったは問題ではなく、色々やってもできないことの原因を分析し、何らかの代替案がないと空いている穴が埋まらない。真摯に向き合い、議論する必要がある。

○農業分野で新規就農者がとても少ないのが残念だ。今後農業は、三種町にとって、とても重要な産業分野だと思う。近くに県立大学もあるので、三種町の今後について大学を利用してもらいたい。

○交流人口の令和元年度107万人、令和2年度99万人は喜ばしい。

○みなさんはじゅんさいを摘み取った経験があるか。体への負担がすごく、摘み手は若くても60代、70代。ものすごく高齢化が進んでいる。若い摘み手の確保のために町は補助金を出しているが、現実には厳しい。そこで県外から定年退職してやる気のある人を取り込むことはできないか。

○進学や就職で地元を離れた後、戻ってくる人をつくるためには仕事が必要ではないか。

○学校再編の問題は、町の地域性で考えるか、人口減少ストップのため外部からより魅力的な教育を考えるか、大事な視点だと思う。町の最重要課題が、人口減少ストップということを根拠に進めていくのは大事な考え方だと思っている。移住の面から考えた場合、小学校4年生くらいまでは小規模校の分校方式をとり、高学年から一つの学校に集まり集団スポーツ等を高めていく考え方もあるのではないか。

○どうすれば子育て世代が増え、ここで暮らしたい若い世代が増えるのか、第2期三種町子育て支援事業計画と最重要課題の人口対策をリンクさせて実現してほしい。

○学校再編計画では、三種町のどこに教育エリアをもってくるのか、乳幼児期から中学生まで一つの教育エリアでもよいと思う。中学校の場所が近々の課題だと思うが、議論するチャンスでは。

○小学生の頃からふるさとを学ぶことは大事なことで、そのために大人は色々な材料を提供する必要がある。数年前にじゅんさいの里活性化協議会で策定した「じゅんさい物語」がとてもよく出来ている。小学生の副読本として活用することができないか。

○町の行政を管理している職員が、能力を存分に発揮できるよう管理・改革してほしい。

○子育て交流施設については、他の市町村にないような魅力的なものにすることで子育て世代を三種町へ連れてくるメリットになる。

○住宅取得事業はありがたい。若い方々のニーズを把握し、より使いやすく若い世代が定着しやすい事業としてほしい。

三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業別実績

基本目標1 三種町における安定した雇用を創出する

重要業績評価指数 ( K P I )				
指標項目	基準値	目標値(R2)	実績値(R2)	達成状況
認定新規就農者数	16人(H26)	総数36人	総数24人	未達成
6次産業化支援団体数	—	5団体	4団体	未達成
新規雇用者数	47人(H26)	総数250人	総数152人	未達成
資格取得助成利用人数	—	総数80人	総数364人	達成
交流人口(観光客入込数)	835,000人(H25)	900,000人	990,000人	達成

(単位:円)

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) 農業所得の向上	じゅんさい生産性向上事業	じゅんさい摘み手育成事業	じゅんさいの生産量を維持するため、摘み手技術習得者へ研修奨励金62,500円を支給する。研修修了後、最大3ヵ月まで月額30,000円を支給する。	—	育成 15人 総数 430人	育成 8人 総数 432人  実績額 300,000	育成 12人 総数410人  実績額 1,380,000	育成 14人 総数424人  実績額 1,625,000	育成 9人 総数433人  実績額 802,500	育成 3人 総数266人  実績額 337,500	—	—	摘み手育成により一定程度の新規雇用を確保できたものの、受講者数の減少が続いており、事業の効果が薄れている。 本事業は2年度で終了し、3年度からは、摘み手の摘み取り数量に応じた助成へ切り替える。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) 農業所得の向上	じゅんさい生産性向上事業	じゅんさい生産数量助成事業	じゅんさいの生産量確保のため、町の登録業者へ出荷した場合、出荷量1キロあたり50円を助成。平成29年度からは30円。	—	助成対象農家203件 出荷数量250t  実績額 12,482,525	助成対象農家200件 出荷数量272t  実績額 13,613,930 (ふるさと納税あり)	助成対象農家187件 出荷数量270t  実績額 8,087,991 (ふるさと納税あり)	助成対象農家173件 出荷数量225t  実績額 6,776,247 (ふるさと納税あり)	助成対象農家164件 出荷数量170t  実績額 5,101,493 (ふるさと納税あり)	助成対象農家156件 出荷数量148t  実績額 10,348,653 (ふるさと納税あり) 助成単価 70円/kg	—	—	R2春先の低温やコロナウイルスの影響により、助成の基本単価30円を70円に増額し、さらに摘み手への数量助成も実施したが、出荷量はさらに減少した。
		じゅんさい圃場整備事業	じゅんさい生産量の維持、拡大を図るため、圃場の新設や再生経費の1/3を助成する。(上限100万円)	—	実績 9件  うち新設 3件 7,618㎡ 改良及び再生 6件 15,715㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者203件のうち、本事業利用割合 4.4%  実績額 947,000	実績 8件  うち新設 3件 8,478㎡ 補修及び改良 3件 5,540㎡ 改良及び再生 2件 2,969㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者200件のうち、本事業利用割合 4.0%  実績額 1,360,000	実績 8件  うち再生 3件 7,189㎡ 新設 3件 9,928㎡ 拡大 1件 700㎡ 補修及び改良 1件 7,349㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者187件のうち、本事業利用割合 4.3%  実績額 1,922,000	実績4件  うち新設 2件 5,119㎡ 拡大 1件 470㎡ 補修及び改良 1件 1,876㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者173件のうち、本事業利用割合 2.3%  実績額 2,788,000	実績 5件  うち改良及び再生 2件 3,249㎡ 新設 3件 8,250㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者164件のうち、本事業利用割合 3.0%  実績額 2,769,392	実績 7件  再生 4件 8,691㎡ 新設 1件 1,000㎡ 補修及び再生 2件 3,500㎡  じゅんさい生産数量助成事業申請者156件のうち、本事業利用割合 4.5%  実績額 2,393,000	—	—	生産量の維持に貢献しているが、利用者が限られている。R3年度からは面積あたりの上限単価を設定し、幅広く活用できるようにする。
	農産物高付加価値化支援事業	秋田発ジャンブランド育成支援事業	県内農林水産物の極上品、逸品のブランド化を目指す取り組みを行い、JGAPじゅんさいの生産及び販路拡大を図る。	—		JGAPじゅんさいが秋田の逸品認証取得  実績額 1,160,000					—	—	H28年度で終了



施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値(H26)	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) 農業所得の向上	農産物高付加価値化支援事業	メロン産地育成事業	メロン生産量の維持・拡大のため、農家の種子購入費の一部を助成する。	—	実績 124件  実績額 3,563,000	実績 116件  実績額 3,395,000	実績 106件 種子購入額 10,299,199 出荷販売額 141,099,410 実績額 3,374,000	実績 93件 種子購入額 8,738,672 出荷販売額 151,058,282 実績額 2,870,000 (ふるさと納税あり)	実績 95件 種子購入額 7,909,433 出荷販売額 154,293,079 実績額 2,585,000 (ふるさと納税あり)	実績 81件 種子購入額 4,278,555 出荷販売額 151,575,398 実績額 2,288,000 (ふるさと納税あり)	—	—	経費の負担が軽減されたが、高齢化により生産者が減少している。
		果樹産地強化支援事業	果樹の栽培拡大に取り組む農家を支援し、産地の維持発展を図る。(5a以上の拡大または改植事業費の1/2、上限25万円)	—	—	—	実績1件 ぶどう3本、桃15本 実績額 104,000円	実績1件 杏30本、桃10本 実績額 69,000円	実績1件 りんご26本 実績額 76,000円	R1で事業終了	—	—	R1で事業終了
	機械施設整備支援事業	新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業	米偏重脱却のため、米以外の規模拡大意欲のある農家の農業機械、施設導入を支援する。県が推奨している作物が対象「えだまめ、ねぎ、アスパラ、花き、トマト、きゅうり、繁殖用雌牛、乳用牛等」助成率県1/12、町2/12	—	機械 20件 機械施設 8件 その他 2件 実績額 22,792,000 (県補助あり)	機械 13件 機械施設 5件 実績額 13,307,000 (県補助あり)	機械 5件 機械施設 2件 実績額 2,932,000 (県補助あり)	機械 3件 機械施設 1件 繁殖用雌牛1件 実績額 4,135,000 (県補助あり)	機械 4件 機械施設 2件 繁殖用雌牛1件 乳用牛 1件 実績額 11,471,000 (県補助あり)	機械 9件 施設 1件 繁殖用雌牛2件 実績額 15,888,000 (県補助あり)	—	—	担い手の確保と育成が必要。農業夢プランの有効活用により、農家への支援を継続する。
(2) 新規就農支援	受入農家支援事業	農業研修者受入支援事業	優良な農家とのマッチングにより、畑作物の栽培技術指導を行う。単年事業で最大5年まで継続可能。	—		助成件数13件 実績額 520,000	助成件数15件 ミニトマト、ネギ、じゅんさい 実績額 400,000	助成件数 じゅんさい14件 実績額 280,000	助成件数 じゅんさい9件 実績額 180,000	助成件数 じゅんさい3件 実績額 60,000	—	—	じゅんさい以外の作物にも活用できるが、利用者なし。新規就農者の研修にも活用可能なことを周知する必要がある。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(2) 新規就農支援	受入農家支援事業	地域で取り組む複合経営支援事業	水稲との複合経営拡大に向け、新規に畑作物等を3戸以上のグループで取り組む場合、耕作に必要なすべての経費を助成する。(上限100万円、1回限り)	—		どしよの養殖2件 ハウスでの野菜栽培2件  実績額 3,722,943	どしよの養殖1件  実績額 1,000,000	実績なし	実績なし	実績なし	—	—	相談は1件あったが3戸以上集まらず断念した人がいた。
	新規就農者支援事業	青年就農給付金事業(農業次世代人材投資事業)	原則45歳未満で、一定の要件を満たす独立、自営就農者に資金を交付する。家族経営協定を義務付け。最長5年間。	認定新規就農者数16人(H26)	新規就農1人 事業対象者15人 総数 18人	新規就農3人 事業対象者19人 総数 21人  実績額 23,100,000 (県補助あり)	新規就農1人 事業対象者18人 総数 22人  実績額 18,475,000 (県補助あり)	新規就農1人 事業対象者10人 総数 23人  実績額 12,850,000 (県補助100%)	新規就農1人 事業対象者6人 総数 24人  実績額 8,318,000 (県補助100%)	新規就農0人 事業対象者5人 総数 24人  実績額 7,568,000 (県補助100%)	総数 36人	総数 24人  未達成	コロナウイルス感染拡大に伴って問い合わせが増えているが、農業未経験者が本補助金を活用するにはハードルが高い。補助金活用者が営農を中止しないようサポートを継続する。
		新規就農者経営開始支援事業	新規就農者の営農定着を図るため、機械、施設等の導入を支援する。対象は認定農業者補助率は被農家出身者1/2以内、農家出身者1/3以内。	—	実績 7人 機械 12件(ねぎ・りんご等) 施設 1件(ねぎ) 肉用牛 2頭(繁殖用雌牛)	実績 9人 機械 9件(ねぎ、りんご、なし、ごぼう) 施設 3件(ミニトマト) 肉用牛 7頭(繁殖用雌牛)  実績額 8,790,000	実績 7人 機械 8件(ミニトマト、ねぎ、さといも) 施設 1件(ミニトマト) 肉用牛 2頭(繁殖用雌牛)  実績額 2,888,000	H29で事業終了			—	—	平成29年度で終了し、新時代を勝ち抜く！農業ゆめプラン事業へ統合した。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(2) 新規就農支援	インターンシップ導入事業	地域で学べ！農業技術研修事業	就農に必要な技術を身につけようとする農業後継者やAターン希望者へ研修奨励金を交付する。研修期間2年以内。助成額：研修者 月100,000円、受入指導者委託料月40,000円以内	—	対象者 1人 H26～H27 H28年4月独立	対象者 1人 H27～H28 H29年4月独立  実績額 900,000 (県補助あり)	対象者1人 H28～H29 H30年4月独立  実績額 1,200,000 (県補助あり)	実績なし	実績なし	実績なし	—	—	H27～H29実績3人 H30以降実績なし
(3) 6次産業化支援	6次産業化支援事業	6次産業化支援事業	農業生産物に付加価値をつけ、新たな特産品の開発に取り組み、販路を拡大し、農業所得の向上を図る。	6次産業化支援団体	加工所建設2団体 グリーンびあじゅんさいの館	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	新規なし	5団体	4団体未達成	実績 4団体 ドラゴンフレッシュセンター グリーンびあじゅんさいの館 ぶるるん  新規の支援団体なし
(4) 地域雇用の創出	中小企業経営支援事業	中小企業融資斡旋資金利子補給	事業経営のため、中小企業へ融資斡旋に対する利子補給を行う。  年2回 利息1.75% 1.55%	—		実績 475件  実績額 12,008,005	実績 442件  実績額 10,648,781	実績 385件  実績額 10,087,777	実績 191件  実績額 4,864,941	実績 196件  実績額 8,211,704	—	—	事業経営の安定が図られ、雇用につながっている。
		小規模事業者経営改善融資利子補給	事業経営のため、小規模経営者の融資斡旋に対する利子補給を行う。 商工会の経営指導を受けた事業者優先 年1回 利息1.11%変動金利	—		実績 36件  実績額 708,000	実績 60件  実績額 1,005,700	実績 58件  実績額 1,276,200	実績 57件  実績額 1,238,900	実績 59件  実績額 1,013,700	—	—	事業経営の安定が図られ、雇用につながっている。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(4) 地域雇用の創出	新規雇用支援事業	地域雇用創出推進事業	多様な雇用を創出するため、町内の事業所へ助成する。 ・新規雇用奨励 ・店舗等増改築 ・機械設備投資 ・営業車両更新 ・新規進出、起業支援 ・工場誘致等奨励	新規雇用者数47人(H26)	新規雇用奨励事業17人(4,530,000) 店舗等増改築事業9件(2,456,000) 機械設備投資事業37件(28,856,000) 営業車両更新事業16件(3,965,000) 新規進出・起業支援事業1件(190,000) 工場等誘致奨励事業1件(480,000) 実績額40,477,000	新規雇用奨励事業28人(4,980,000) 店舗等増改築事業10件(4,436,000) 機械設備投資事業31件(12,191,000) 営業車両更新事業13件(3,000,000) 新規進出・起業支援事業2件(2,327,000) 工場等誘致奨励事業2件(1,690,000) 実績額28,265,000(ふるさと納税あり)	新規雇用奨励事業27件34人(9,340,000) 店舗等増改築事業6件(1,265,000) 機械設備投資事業32件(12,736,000) 営業車両更新事業12件(2,363,000) 工場等誘致奨励事業2件(1,390,000) 実績額27,094,000(ふるさと納税あり)	新規雇用奨励事業24件34人(6,860,000) 店舗等増改築事業5件(1,175,000) 機械設備投資事業30件(11,264,000) 新規進出・起業支援事業1件(2,000,000) 工場等誘致奨励事業1件(720,000) 営業車両更新事業 廃止 実績額22,019,000(ふるさと納税あり)	新規雇用奨励事業22件13人(4,180,000) 店舗等増改築事業7件(1,656,000) 機械設備投資事業23件(8,797,000) 営業車両更新事業廃止 実績額14,633,000(ふるさと納税あり)	新規雇用奨励事業25件26人(5,290,000) 店舗等増改築事業7件(1,598,000) 機械設備投資事業25件(7,677,000) 営業車両更新事業廃止 実績額14,565,000(ふるさと納税あり)	総数250人	総数152人 未達成	H22～H30実績310人 新規雇用奨励、店舗等増改築、機械設備投資事業は毎年実績があり、地域経済の活性化と事業の拡大、雇用の創出が図られているが、新規進出や起業、工場誘致等の実績が減少していることが課題。
	創業・起業支援事業	新規進出・起業・異業種参入支援事業	多様な雇用を創出するため起業した個人・事業所へ助成する。(地域雇用創出推進事業の一部)	—	実績 1件 実績額(190,000)	実績 2件(菓子製造業・自動車整備業) 実績額(2,327,000)	実績なし	実績 1件(コインランドリー) 実績額(2,000,000)	実績なし	実績なし	—	—	実績なし
	企業誘致制度の拡充	工場誘致等奨励事業	工場を新設または増設し、新たに社員を雇用する事業所へ助成する。(地域雇用創出推進事業の一部)	—	実績 1件 実績額(480,000)	実績 2件 実績額(1,690,000)	実績 2件 実績額(1,390,000)	実績 1件 実績額(720,000)	実績なし	実績なし	—	—	実績なし

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(4) 地域雇用の創出	スキルアップ支援事業	資格取得支援事業	就労者の能力向上、就業機会の拡大、所得向上のため、資格や免許取得費用を助成する。(上限10万円)	資格取得助成利用人数		実績 54人 実績額 2,985,000	実績 73人 実績額 2,720,000	実績 88人 実績額 4,226,000	実績 64人 実績額 2,351,000	実績 85人 実績額 3,347,000	総数 80人	総数 364人 達成	大型(特殊)自動車免許・建設技能関係・介護福祉士 ほか一定数の利用者があり、スキルアップ、求職者の就労に効果があった。
(5) 観光資源活性化支援	観光資源活性化支援事業	じゅんさいの里活性化事業	じゅんさいを核として経営強化、所得向上、人材確保を図る。	—	摘み採り体験農家数 5 摘み採り体験者数1,060人	摘み採り体験農家数 8 JGAPじゅんさい農家数28 摘み採り体験者数1,027人	摘み採り体験農家数 8 JGAPじゅんさい農家数30 摘み採り体験者数782人	摘み採り体験農家数 8 JGAPじゅんさい農家数 29 摘み採り体験者数1,319人	摘み採り体験農家数 7 JGAPじゅんさい農家数 23 摘み採り体験者数1,100人	摘み採り体験農家数 6 JGAPじゅんさい農家数 22 摘み採り体験者数1,063人	—	—	JGAP農家数が減少している。摘み採り体験は、メディア等でのPRにより横ばいだったが、コロナウイルスの影響によりイベントや商談会が出来なかった。じゅんさい農家の所得向上と摘み手育成の対策が必要。
		サンドクラフト	環境省認定「日本の快水浴場100選」の釜谷浜海水浴場で開催する砂の彫刻の制作展示等を行うまちづくりイベント	—		集客数 34,000人 実績額 14,210,000	集客数 37,000人 実績額 13,210,000	集客数 35,000人 実績額 13,210,000	集客数 34,000人 実績額 12,510,000	コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止	—	—	R2は開催できなかったが、R3年度は25周年の節目となるため、イベント内容を検討する。
	交流人口拡大事業	PRラジオ放送事業	1年を通して、三種町のイベント・観光・特産品や人の魅力を「みたねにあいたい」というラジオ番組で情報を発信し交流人口拡大を図る。	—		毎週土曜日9時からのラジオ放送で町をPR 実績額 2,462,400	毎週土曜日9時からのラジオ放送で町をPR 実績額 2,146,130	毎週土曜日9時からのラジオ放送で町をPR 実績額 3,453,813	H30で事業終了		—	—	30年度で事業終了

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(5) 観光資源活性化支援	交流人口拡大事業	交流観光事業 (観光協会支援事業)	地域の観光資源や特産品を有効活用し、町の観光振興を図る。	交流人口 (観光客入込客数) 835,000人 (H25)		実績 812,000人  実績額 5,058,000  森岳温泉郷、ゆめろん、イベント、釜谷浜、道の駅、町内施設	実績 832,000人  実績額 6,738,000  森岳温泉郷、ゆめろん、イベント、釜谷浜、道の駅、町内施設	実績 810,000人  実績額 9,320,000  森岳温泉郷、ゆめろん、イベント、釜谷浜、道の駅、町内施設	実績 1,070,000人  実績額 10,820,000  森岳温泉郷、ゆめろん、イベント、釜谷浜、道の駅、じゅんさい摘み取り体験、直売施設等	実績 990,000人  実績額 10,713,142  森岳温泉郷、ゆめろん、イベント、釜谷浜、道の駅、じゅんさい摘み取り体験、直売施設等	900,000人	990,000人 達成	稼ぐ観光協会をめざし、ECサイト「三種町ずらり」を立ち上げ、特産品や工芸品等の販売を開始。R3年2月に「じゅんさいスタンド プチバトー」をオープンし、特産品を使ったメニューを提供中。
	交流人口拡大事業	地域活性化イベント事業	サンドクラフト 13,210,000円 森岳温泉夏まつり 3,890,000円 道の駅ことおか秋まつり 400,000円	—		サンドクラフト 34,000人 森岳温泉夏まつり 12,000人 道の駅ことおか秋まつり 1,000人  実績額 19,300,000	サンドクラフト 37,000人 森岳温泉夏まつり 11,000人 道の駅ことおか秋まつり 1,000人  実績額 17,500,000 (ふるさと納税あり)	サンドクラフト 35,000人 森岳温泉夏まつり 12,000人 道の駅ことおか秋まつり 1,000人  実績額 17,500,000 (ふるさと納税あり)	サンドクラフト 34,000人 森岳温泉夏まつり 11,000人 道の駅ことおか秋まつり (台風で中止)  実績額 17,385,886 (ふるさと納税あり)	—	—	コロナウイルス感染拡大防止により全イベント中止  R3年度開催に向けて検討する。	
	台湾交流事業	台湾南投縣との友好交流を推進し文化・観光・特産品の相互交流を通じて、インバウンド・アウトバウンドによる町の活性化を図る。	—	—		台湾との交流  実績額 2,852,486	台湾との交流  実績額 841,802	台湾との交流  実績額 611,795	実績なし	事業なし	—	—	南投縣との交流は元年度で終了。今後は秋田県のトップセールスに参加し、町のPRをしていく。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(5) 観光資源活性化支援		スポーツ・文化合宿等誘致推進事業	町内外のスポーツ、文化、教育団体が町内に宿泊して行う合宿、大会、体験旅行の宿泊料を助成する。	—		利用実績 5,370人  実績額 10,090,000 (ふるさと納税あり)	利用実績 4,744人  実績額 8,943,000 (ふるさと納税あり)	利用実績 5,797人  実績額 10,334,000 (ふるさと納税あり)	利用実績 4,577人  実績額 8,617,000 (ふるさと納税あり)	利用実績77人  実績額 200,000 4月～6月分  7月からはコロナ助成へ移行	—	—	コロナウイルス感染拡大防止により、先が見通せない状況だが、終息後の地域経済回復へ向け、継続する。

基本目標2 三種町における新しい人の流れをつくる

重要業績評価指数 ( K P I )				
指標項目	基準値	目標値(R2)	実績値(R2)	達成状況
転入者数	256人(H25)	280人	203人	未達成
移住・定住相談件数	20件(H26)	総数120件	総数183件	達成
空き家バンク登録件数	21件(H26)	50件	最大53件(R1)	達成
空き家移住世帯数	3世帯(H26)	総数29世帯	総数27世帯	未達成

(単位:円)

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) 移住・定住支援の強化	移住・定住対策事業	定住奨励金事業	U・ターン者で転入した日から1年以上居住している人に定住奨励金を交付する。	転入者数 256人 (H25)	転入者数 277人 定住奨励金 申請件数6件 交付件数6件  実績額 900,000	転入者数 269人 定住奨励金 申請件数23 件 交付件数21 件  実績額 3,800,000	転入者数 281人 定住奨励金 申請件数35 件 交付件数34 件  実績額 4,600,000	転入者数 224人 定住奨励金 申請件数46 件 交付件数41 件  実績 6,700,000	転入者数 236人  H30で定住奨励金終了	転入者数 203人	280人	203人  総数 1,490人  未達成	H30で定住奨励金終了  コロナウイルスの影響等により転入者数が減少した。
		移住定住対策事業	移住受け入れ体制の整備や移住支援を強化する。空き家の環境整備を図る。	移住・定住 相談件数 20件 (H26)	相談件数19 件  移住 3世帯4人 2人世帯:1 1人世帯:2	相談件数20 件  移住世帯 5世帯10人 3人世帯:2 2人世帯:1 1人世帯:2  実績額 160,000	相談件数12 件  移住世帯 1世帯3人 3人世帯:1  実績額 159,000	相談件数42 件  移住世帯 3世帯7人 移住世帯 1人世帯:1 2人世帯:1 4人世帯:1  実績額82,136	相談件数53 件  移住世帯 2世帯4人 2人世帯:2  実績額80,000	相談件数37 件  移住世帯なし 実績額 なし	総数 120件	総数 183件  達成	コロナウイルス感染防止対策の影響等により移住者の実績はなかったが、オンラインでイベントを開催し、PRを実施した。



施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) 移住・定住支援の強化	移住体験ツアー事業	ふるさと体験ツアー事業	NPO法人一里塚が行う「ふるさと体験ツアー」の事業に対して助成する。 R1から、なんとすみたねへ委託	—		ふるさと体験ツアー参加者 17人  実績額 440,000	ふるさと体験ツアー参加者 27人  実績額 440,000	みたねトレジャーツアー等参加者17人  実績額 710,000	みたねトレジャーツアー等参加者8人  実績額 1,884,520	みたねトレジャーツアーの開催なし オンラインイベント開催 10回  実績額 1,884,300	—	—	コロナウイルス感染予防により、トレジャーツアーが開催できず、オンラインイベントを実施した。
(2) 空き家の確保対策	空き家バンク整備事業	空き家バンク整備事業	優良な空き家を確保して登録し、移住しやすい環境を整えて移住者の増加を図る。	空き家バンク登録件数 21件 (H26)	空き家登録件数 26件 移住世帯数 3世帯4人	空き家登録件数 30件	空き家登録件数 33件	空き家登録件数 42件	空き家登録件数 53件	空き家登録件数 40件 うち入居済件数 36件	50件	40件 未達成	老朽化が著しく、問い合わせのない物件を登録解除したため、登録物件数が減少した。
				空き家移住世帯数 3世帯 (H26)	移住世帯数 3世帯	移住世帯数 5世帯	移住世帯数 1世帯	移住世帯数 4世帯	新規入居世帯 7世帯	新規入居世帯 7世帯	総数 29世帯	総数 27世帯 未達成	問い合わせは増えているが、条件の整った物件が少ないため、契約件数が伸びない。
	短期移住体験用空き家整備事業	短期移住体験用空き家整備事業	短期移住体験用施設として、空き家を活用したシェアハウスを整備する。	—	1戸整備	利用実績なし	利用実績 1件2人	利用実績なし	利用実績なし	利用実績なし	—	—	現在の1戸は入浴設備がなく、移住体験用としては利用しにくいことから、別途活用について検討する必要がある。

基本目標3 三種町における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

重要業績評価指数 ( K P I )				
指標項目	基準値	目標値(R2)	実績値(R2)	達成状況
結婚支援員の養成	—	20人	6人	未達成
合計特殊出生率	1.27(H19-H24)	1.37	1.28(H25-H29) ※R2公表値	未達成
第2子以降の割合	48.6%(H26)	50.0%	67% ※保育園利用割合	達成

(単位:円)

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1)結婚支援の推進	結婚支援事業	結婚支援事業	結婚への意識を高めるため、結婚支援員の設置と出会いを創出するイベントの開催。 H30年度から結婚祝い金事業開始 1組現金10万円	結婚支援員の養成		結婚支援員13人 出会いイベント開催 5回  実績額 1,368,720	結婚支援員7人 出会いイベント開催 7回  実績額 1,667,730	結婚支援員6人 出会いイベント開催 3回 カップル成立7組  結婚祝い金16組 実績額 2,639,400	結婚支援員7人 出会いイベント開催 2回 カップル成立7組 うち成婚 1組  結婚祝い金16組 実績額 2,400,000	結婚支援員6人 お引き合わせ7件  結婚祝い金10組 実績額 1,660,000	20人	6人 未達成	コロナウイルス感染拡大防止対策により出会いイベントが開催できなかったが、支援員によるお引き合わせは随時実施している。 婚活支援の広域的な取り組みが課題
		あきた結婚支援センター入会助成事業	秋田結婚支援センター入会登録料助成 補助額1万円 有効期限3年	—	入会登録料助成実績 5件 成婚者なし 実績額 50,000	入会登録料助成実績 4件 成婚者1人 実績額 40,000	入会登録料助成実績 6件 成婚者なし 実績額 60,000	入会登録料助成実績 6件 成婚者3人 実績額 60,000	入会登録料助成実績 4件 成婚者1人 実績額 40,000	入会登録料助成実績 5件 成婚者なし 実績額 50,000	—	—	一定数の登録者がいることから、事業を継続し、出会いの機会を拡充する。

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(2)子育て支援の充実	子育て支援センター事業	地域子育て支援事業	妊娠・出産・育児について、地域全体で子育てを支援する基盤をつくる。	合計特殊出生率1.27(H19-H24)		育児相談、交流事業実施 実績額14,636,000	育児相談、交流事業実施 実績額14,657,000	育児相談、交流事業実施 実績額10,821,185	育児相談、交流事業実施 実績額10,742,912	育児相談、交流事業実施 実績額5,712,220	1.37	1.28(H25-H29) 未達成	R2年度から、子育て支援センターを森岳保育園に集約した。 R3年3月子育て世代包括支援センター開設
	保育料助成制度の充実	すこやか子育て支援事業	子育ての負担軽減 第2子以降保育料無料 所得制限、2子判定の年齢制限の要件なし	第2子以降の割合48.6%(H26)		保育園利用児童39.5% 実績額46,181,000(県あり)	保育園利用児童40.0% 実績額45,464,000(県あり)	保育園利用児童44.8% 実績額43,499,000(県あり)	保育園利用児童62.0% 実績額30,629,000(県あり)	保育園利用児童67.0% 実績額15,967,000(県あり)	50.0	保育園利用児童の割合67.0% 達成	R1.10月から、3歳～5歳児の保育料が無料になったため、実績額が半減した。 安心して子育てや育児が出来る環境を維持したい。
	医療費助成制度の充実	福祉医療費給付事業	医療費の自己負担分を助成する。対象は0歳から18歳 所得制限なし 中学生までは県補助あり	—		子ども受給者1,620人 8月から高校生まで拡充352人 実績額(県あり)44,913,643 うち高校生分4,254,254	子ども受給者1,543人 うち高校生326人 実績額(県・ふるさと納税あり)46,528,845 うち高校生分7,877,598	子ども受給者1,466人 うち高校生325人 実績額(県・ふるさと納税あり)43,238,301 うち高校生分8,108,538	子ども受給者1,424人 うち高校生335人 実績額(県・ふるさと納税あり)31,512,834 うち高校生分7,422,514	子ども受給者1,469人 うち高校生257人 実績額(県・ふるさと納税あり)38,708,309 うち高校生分11,941,024	—	—	所得制限なく高校生まで医療費を無償化したことにより、親の経済的な負担を軽減できている。
	予防接種費用助成事業	おたふくかぜ(1歳以上小学校就学前の幼児で未罹患者)、季節性インフルエンザ(生後6カ月から高校生)の予防接種費を助成する。	—	おたふくかぜ66人 インフルエンザ延1,879人	おたふくかぜ52人 インフルエンザ延1,826人 実績額2,892,140	おたふくかぜ29人 インフルエンザ延1,656人 実績額2,578,505	おたふくかぜ59人 インフルエンザ延1,691人 実績額2,737,871	おたふくかぜ54人 インフルエンザ延1,683人 ロタウイルス延61人 実績額3,123,744	おたふくかぜ52人 インフルエンザ延1,652人 ロタウイルス延44人 実績額3,123,744	—	—	感染症のまん延防止防のため、今後も継続する。 ロタウイルスは、R2.10月から定期予防接種へ移行された。	

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(2)子育て支援の充実	医療費助成制度の充実	赤ちゃん誕生応援事業	特定不妊治療(1回の上限額15万円)、一般不妊治療及び不育症治療費(継続3年を限度、上限額15万円)を助成する。	—	特定 8件 一般 4件  実績額 1,032,274	特定 3件 一般 6件  実績額 476,203	特定 5件 一般 8件  実績額 1,095,352	特定 2件 一般 9件  実績額 806,528	特定 1件 一般11件  実績額 761,450	特定 2件 一般12件  実績額 1,191,320	—	—	治療を希望する夫婦の経済的負担軽減のため、今後も継続する。
		乳幼児・母子保健事業	妊婦一般健診、妊婦歯科健診費用を助成する。	—	妊婦一般健康 診査 実数 108人 延べ数 855人 妊婦歯科健診 33人	妊婦一般健康 診査 実数 95人 延べ数 701人 妊婦歯科健診 23人  実績額 6,123,150	妊婦一般健康 診査 実数 103人 延べ数 879人 妊婦歯科健診 27人  実績額 7,163,970	妊婦一般健康 診査 実数 76人 延べ数 590人 妊婦歯科健診 13人  実績額 4,445,620	妊産婦一般健康 診査 実数 88人 延べ数 795人 妊婦歯科健診 18人  実績額 5,463,460 (ふるさと納税あり)	妊産婦一般健康 診査 実数 78人 延べ数 754人 妊婦歯科健診 19人  実績額 5,284,060	—	—	妊産婦と新生児の健康管理の充実と経済的負担軽減のため継続する。

基本目標4 三種町における時代に合った地域をつくる

重要業績評価指数 ( K P I )				
指標項目	基準値	目標値(R2)	実績値(R2)	達成状況
まちの愛着度	66.2%(H27)	70.0%	72.9%	達成
クアオルト事業実践者数	—	3,200人	最大(H30) 1,125人	未達成
国保加入者特定健診受診率	33.9%(H25)	60.0%	38.1%	未達成

(単位:円)

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) コミュニティ活動支援	地域コミュニティ活性化支援事業	三種町元気づくり支援事業	町を元気にする活動で、独創的、効果的に取り組む団体へ助成する。	まちの愛着度 66.2% (H27)		50万円以下 13団体 10万円以下 22団体  実績額 7,472,000 まちの愛着度 73.2%	50万円以下 15団体 10万円以下 29団体  実績額 7,875,000 まちの愛着度 71.6%	—  まちの愛着度 70.3%	—  まちの愛着度 70.3%	—  まちの愛着度 72.9%	70.0%	最終 72.9% 達成	H24からH29まで6年間実施し、若者活動支援事業へ切り替えた。町の愛着度をはかるアンケートは、H28.29.30. R2に実施

施策名	主要事業名	事業名	事業概要	基準値	年度別実績						目標値(R2)	達成状況	効果・課題等
					H27	H28	H29	H30	R1	R2			
(1) コミュニティ活動支援		若者活動支援事業	町や地域の活性化に資する活動を行う若者団体を支援する。 補助率9/10以内 限度額50万円	—	—	—	申請6団体 スケートボード、子どもまつり、いきいきふれあいプロジェクト、三種で遊び隊、みたねーしょん、みたねつと  実績額 2,446,186 (過疎債あり)	申請8団体 スケートボード、子どもまつり、いきいきふれあいプロジェクト、三種で遊び隊、みたねーしょん  新規:ゴスペル、ボクシング、三種ですごし隊  実績額 2,801,0006 (過疎債あり)	申請7団体 スケートボード、子どもまつり、いきいきふれあいプロジェクト、みたねーしょん、ゴスペル  中止:2団体 ボクシング、三種ですごし隊  実績額 2,377,000 (過疎債あり)	—	—	H30年度新設 R2は、コロナウイルス感染防止対策により2団体が事業を中止した。 自主活動する団体の育成が課題。	
(2) クアオルトの推進	クアオルト促進事業	クアオルト事業	町民一人ひとりの健康に対する意識向上と健康づくりの実践。  H27-H30あきた未来づくり交付金活用	実践者数	実践者数 641人	実践者数 693人	実践者数 859人	実践者数 1,125人	実践者数 1,092人	実践者数 400人	3,200人	最大 1,125人  未達成	H27-R2実践者総数4,810人 R1秋田銀行との連携協定締結により、企業の健康経営が開始。 法人がヘルスツーリズムの認証取得。 R2はコロナウイルス感染拡大防止対策により行事が中止され、実践者が減少した。
				延べ人数	延べ人数 8,929人	延べ人数 13,137人	延べ人数 15,153人	延べ人数 13,423人	延べ人数 12,051人	延べ人数 9,774人			
				国保加入者の特定健康診査受診率 33.9% (H25)		特定健診受診率 37.6%	特定健診受診率 37.7%	特定健診受診率 39.2%	特定健診受診率 42.1%	特定健診受診率(暫定) 38.1%	60.0%	最終 38.1%  未達成	
						実績額 14,200,344	実績額 17,898,523	実績額 13,734,609	実績額 17,089,922	実績額 16,160,467			

地方創生推進交付金関係

地域連携DMOあきた白神ツーリズムを核とした観光地域づくり推進事業

交付金名	事業概要				実績額		
地方創生推進交付金	・能代山本郡内の人口減少による地域経済活動の縮小を補うため、インバウンドを軸とした交流人口の増加により域内の消費額拡大を図り、地域経済を活性化させる。 ・地域にある自然、文化的資源を最大限活用する。				R1 7,440,030円(国3,440,200 町3,999,830) R2 7,695,610円(国3,847,805 町3,847,805)		
重要業績評価指数 ( K P I )							
指標項目	事業開始前	R 1			R 2		
		目標値	実績値	達成状況	目標値	実績値	達成状況
自然・文化を題材としたDMOが造成・支援する ツアー・プログラムの延べ参加者数	0人	550人	187人	未達成	3,550人	1,062人	未達成
延べ宿泊者数 (訪日外国人宿泊者数含)	182,925人	184,000人	189,196人 うち三種町 12,448人	達成	186,000人	135,151人 うち三種町 11,913人	未達成
訪日外国人宿泊者数	700人	1,200人	1,783人 うち三種町 158人	達成	2,600人	580人 うち三種町 1人	未達成

## 地方創生推進交付金関係

交付金名	事業概要	重要業績評価指数（KPI）			
		指標項目	目標値	H28	達成状況
地方創生 加速化交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人「ぶるるん」の設立</li> <li>・JGAPじゅんさい振興と地域観光情報の収集及び発信</li> <li>・三種町ふるさと資源情報センター整備</li> <li>・事業評価</li> </ul>	新規雇用者数	3人(H28)	1人(H28)	未達成
		NPO法人による JGAPじゅんさいの取扱量	1,000kg(H28)	2,432kg(H28)	達成
H28実績額	72,814,423円（国70,363,903 町2,450,520）	JGAPじゅんさい 新規就農者数	2人(H28)	0人(H28)	未達成
		観光客入込数	845,000人 (H28)	812,000人 (H28)	未達成

交付金名	事業概要	重要業績評価指数（KPI）						
		指標項目	目標値	H28	H29	H30	累計	達成状況
地方創生 推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング・リサーチの実施と販売戦略策定の整備</li> <li>・地域会社の顧客開拓の補強・促進策の整備</li> <li>・交流観光を担う地域人材の養成</li> </ul>	地域会社 「ぶるるん」の 販売額	目標値	200千円	2,000千円	6,000千円	8,200千円	—
			実績値	427千円	5,089千円	6,355千円	11,798千円	達成
		JGAP じゅんさい 取扱量	目標値	2,000kg	3,000kg	4,000kg	9,000kg	—
			実績値	2,432kg	4,524kg	3,601kg	10,557kg	達成
H28実績額	7,286,320円（国3,500,000 町3,786,320）	新規 雇用者数	目標値	3人	2人	5人	10人	—
H29実績額	26,237,396円(国11,669,753 町14,567,643)		実績値	1人	0人	1人	2人	未達成
H30実績額	17,680,813円(国8,417,605 町9,263,208)							



